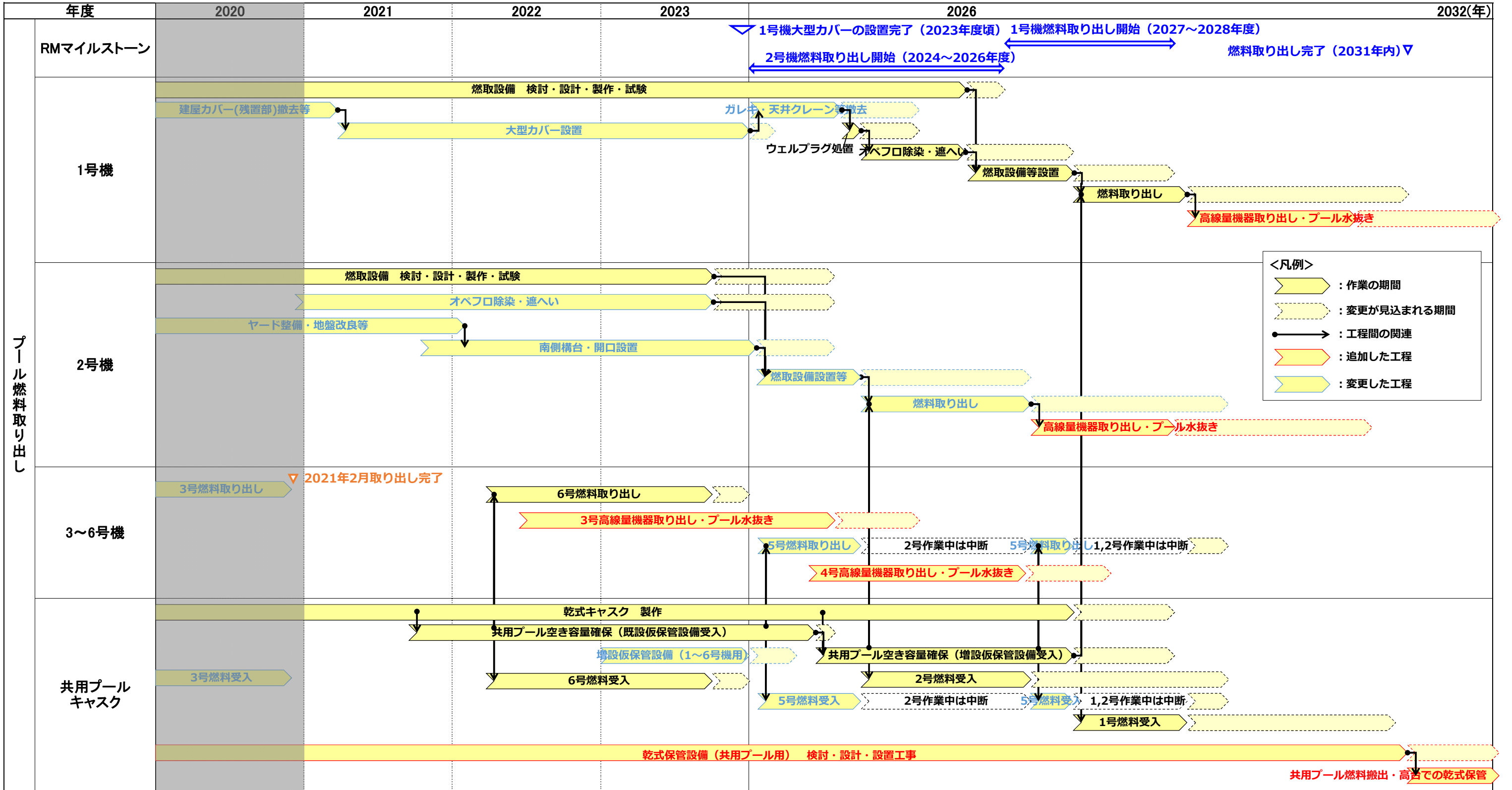
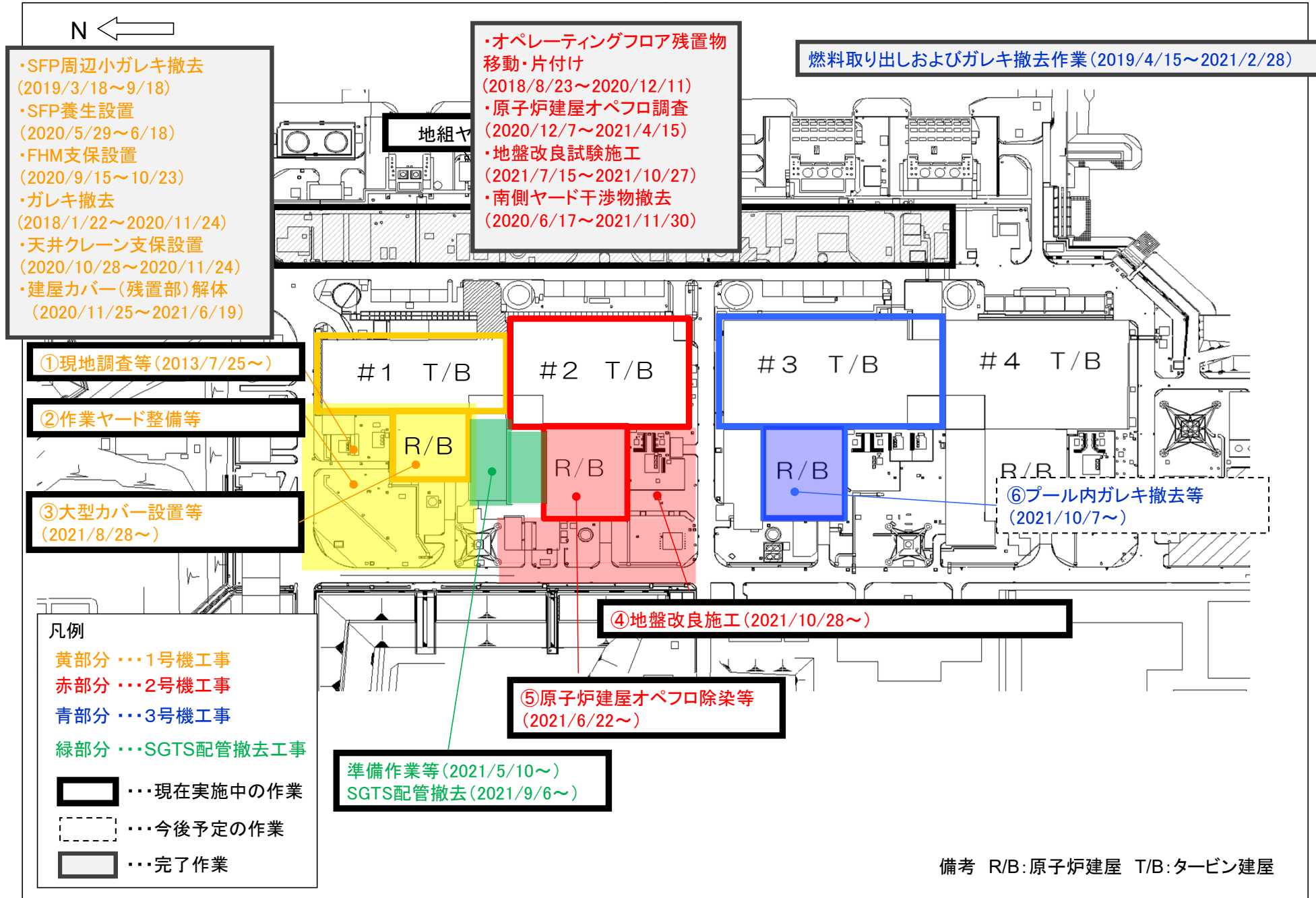


分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	2月		3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月以降			備考
				15	20	27	6	13	20	27	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	
●1号機大型カバーの設置完了(2023年度) ●1号機燃料取り出しの開始(2027~2028年度) ●2号機燃料取り出しの開始(2024~2026年度) ●1~6号機燃料取り出し完了(2031年内)	カ バ ー	燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型カバー、ガレキ撤去の検討・設計 現地調査等 作業ヤード整備・外壁調査 大型カバー仮設構台等設置 【構外】大型カバー換気設備他準備工事 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型カバー、ガレキ撤去の検討・設計 現地調査等 作業ヤード整備・外壁調査 大型カバー仮設構台等設置 R/B壁面アンカー設置 【構外】大型カバー換気設備他準備工事 	検討・設計	大型カバー、ガレキ撤去の検討・設計																		(2028年度完了予定)	【主要工程】 ○ガレキ撤去：'18/1/22~20/11/24 (大型カバー設置後に再開予定) ・Xブレース撤去：'18/9/19~'18/12/20 ・機器ハッチ養生：'19/1/11~'19/3/6 ・屋根鉄骨分解：'19/2/5~'19/2/22 ・SFP高辺小ガレキ撤去：'19/3/18~'20/9/18 ・フェルト調査：'19/7/17~'19/8/28 ・SFP内汚染物等調査：'19/8/2、'19/9/4~6、9/20、27 ・フェルト上のH鋼撤去：'19/8/28 ・FHM下部支障物撤去：'20/3/3~'20/3/14 ・SFPゲートカバー設置：'20/3/16~'20/3/18 ・SFP養生設置 (準備作業含む)：'20/3/20~'20/6/18 ・FHM支保設置 (準備作業含む)：'20/9/15~'20/10/23 ・天井クレーン支保設置 (準備作業含む)：'20/10/28~'20/11/24 ○大型カバー設置 ・鋼管カバー解体 (準備作業含む)：'20/11/25~'21/6/19 ・大型カバー仮設構台等設置：'21/8/28~ ・外壁調査：'21/10/20~ ・大型カバー換気設備他準備工事：'21/10/19~			
				現場実績反映	①現地調査等 ('13/7/25~)																					(2028年度完了予定)	
				現場実績反映	②作業ヤード整備、構外ヤード地組、外壁調査等																					(2028年度完了予定)	
				現場実績反映	③-1大型カバー仮設構台等設置																					(2023年度完了予定)	
				現場実績反映	③-2 R/B壁面アンカー設置、ベースプレート設置																					(2022年度完了予定)	
				現場実績反映	③-3 本体鉄骨連立等																					(2023年度完了予定)	
				現場実績反映	【構外】大型カバー換気設備他準備工事																					(2023年度完了予定)	【規制庁関連】 ・オペレーティングフロア床上加レキの一部撤去等 実施計画変更認可 ('19/3/1) ・大型カバー 実施計画変更申請 ('21/6/24) ・大型カバー換気設備他 実施計画変更申請 ('21/8/23)
				現場実績反映																						(2023年度完了予定)	※○番号は、別紙配置図と対応
				現場実績反映																						(2023年度完了予定)	
				●1~6号機燃料取り出し完了(2031年内)	燃 料 取 り 出 し	燃料取り出し用構台の検討・設計 燃料取り出し用構台の撤去 燃料取り出し用構台の設置工事	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料取り出し用構台の検討・設計 南側ヤード干渉物撤去 原子炉建屋オヘフロ除染 (除染装置試運転・モックアップ含む) 地盤改良試験施工 地盤改良 原子炉建屋オヘフロ遮蔽体設置 (構外) 遮蔽体設置準備・モックアップ <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料取り出し用構台の検討・設計 原子炉建屋オヘフロ除染 (除染装置試運転・モックアップ含む) 原子炉建屋オヘフロ遮蔽体設置 (構外) 遮蔽体設置準備・モックアップ 【構内】遮蔽体設置準備・設置 燃料交換機移動 地盤改良 燃料取扱機操作室撤去 	検討・設計	燃料取り出し用構台の検討・設計																		(2024年度完了予定)
現場実績反映	4.地盤改良																									(2024年度完了予定)	
現場実績反映	【構外】原子炉建屋オヘフロ遮蔽体設置 (その1) (準備・モックアップ)																									(2024年度完了予定)	
最新工程反映	⑤燃料交換機移動準備作業																									(2024年度完了予定)	
最新工程反映	⑤燃料交換機移動																									(2024年度完了予定)	
最新工程反映	⑤燃料取扱機操作室撤去																									(2022年11月完了予定)	
最新工程反映	⑤オヘフロ南側既設設備撤去																									(2023年3月完了予定)	
最新工程反映																										(2023年3月完了予定)	※○番号は、別紙配置図と対応
最新工程反映																										(2023年3月完了予定)	
●その他プール燃料取り出し関連作業	共 用 プ ール	燃料受け入れ 乾式キャスク製作 共用プール空き容量確保 (既設保管設備導入) 乾式保管設備 (共用プール用) 検討・設計・設置工事 高線量機器取り出し	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料受け入れ設備の検討・設計 燃料受け入れ設備の検討・設計 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料受け入れ設備の検討・設計 燃料受け入れ設備の検討・設計 					検討・設計	燃料受け入れ設備の検討・設計																		(2026年度完了予定)
				検討・設計	燃料受け入れ設備の検討・設計																					(2024年度完了予定)	【主要工程】 ・燃料受け入れ計画の選択：'19/10/31
				現場実績反映	6号機使用済燃料の搬出																					(2024年度完了予定)	【主要工程】 ・6号機使用済燃料搬出 (6号機→共用プールに移送)：'22/8下旬~
				現場実績反映	燃料受け入れ																					(2024年度完了予定)	【主要工程】 ・共用プール新燃料外観点検：'21/12/2~'22/1/25
				現場実績反映	乾式キャスク製作																					(2024年度完了予定)	【主要工程】 ・実施計画変更認可 ('20/9/29)
				現場実績反映	共用プール空き容量確保 (既設保管設備導入)																					(2027年度完了予定)	【主要工程】 ・乾式キャスク搬出作業開始 ('22/5~) ・乾式キャスク仮保管設備工リ増設 ('22/7~)
				現場実績反映	乾式保管設備 (共用プール用) 検討・設計・設置工事																					(2023年4月完了予定)	
				現場実績反映	高線量機器取り出し方法の検討、取り出し機器・容器等の設計・製作																					(2022年9月完了予定)	【主要工程】 ○3号機 使用済燃料プール内調査：'21/7/15~'21/10/6 ○3号機 使用済燃料プール内ガレキ撤去準備・ガレキ撤去：'21/10/7~
				現場実績反映	共用プール1階天井クレーンの走行不能事象の調査・復旧に伴う延期																					(2023年度完了予定)	
				現場実績反映	高線量機器取り出し方法の検討、取り出し機器・容器等の設計・製作																					(2024年度完了予定)	



注：今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る

1, 2, 3号機 原子炉建屋上部瓦礫撤去工事 燃料取り出し用カバー工事 他 作業エリア配置図



共用プールからキャスク仮保管設備への
使用済燃料構内輸送作業開始時期の見通しについて

TEPCO

2022年3月

東京電力ホールディングス株式会社

1. 使用済燃料構内輸送作業開始時期の見通しについて



- 2022年8月末頃から6号機使用済燃料（1,456体）を取り出し、共用プールへの輸送を開始する予定である
- 共用プールの空き容量を確保するため、貯蔵されている使用済燃料を輸送貯蔵兼用キャスク22基（1基あたり燃料69体収納可能）に装填しキャスク仮保管設備へ構内輸送し保管する
- 2022年3月16日の地震により、共用プール建屋1階天井クレーンの走行不能事象等が発生したため、3月末に予定していた構内輸送作業の開始時期を見直す
- 8月末頃に開始する6号機使用済燃料の取り出しは計画通り開始予定

共用プールからの使用済燃料構内輸送作業予定

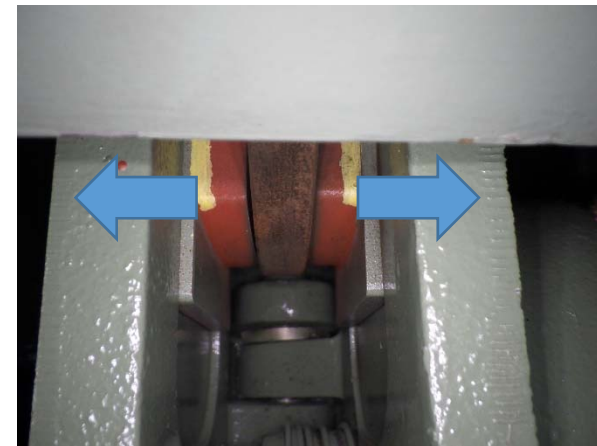
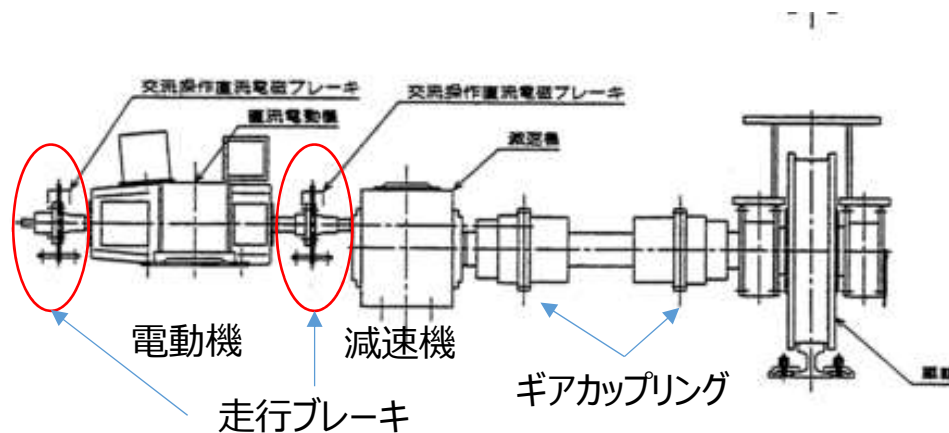
項目	2022年												2023年												2024年			
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
輸送貯蔵兼用キャスク受入	4基 ▼				4基 ▼					4基 ▼		4基 ▼					4基 ▼			2基 ▼								
使用済燃料構内輸送作業※1				6基											16基													
設備点検※2				クレーン復旧次第、作業開始予定 (早ければ、5月中の見込み)								■																
6号機使用済燃料取り出し				2023年度中目途 完了予定																								

※1 キャスク受入時期の変更により、スケジュールは変わる可能性がある。

※2 燃料取扱機、搬送台車、天井クレーン

2. 共用プール建屋1階天井クレーンの状況 ①走行不能について

- 3月16日の地震後、試運転を実施したところ走行コントローラを操作しても動作しない事象を確認。横行および昇降操作は可能。
- その後の調査により走行ブレーキが解除されず、ディスクの回転が制動されていたため走行不能になっていたことが判明。今後、ブレーキ部の点検・調整を実施する。
 - 走行ブレーキ4か所中1か所について、走行動作を入力してもブレーキが解除されない（通常は電磁ブレーキのコイル励磁により、ブレーキが解除される）
 - 当該ブレーキを手動開放し、かつカバーの損傷が確認されたギアカップリングを電動機から切り離した状態では、電動機から減速機までの部位について動作することを確認。

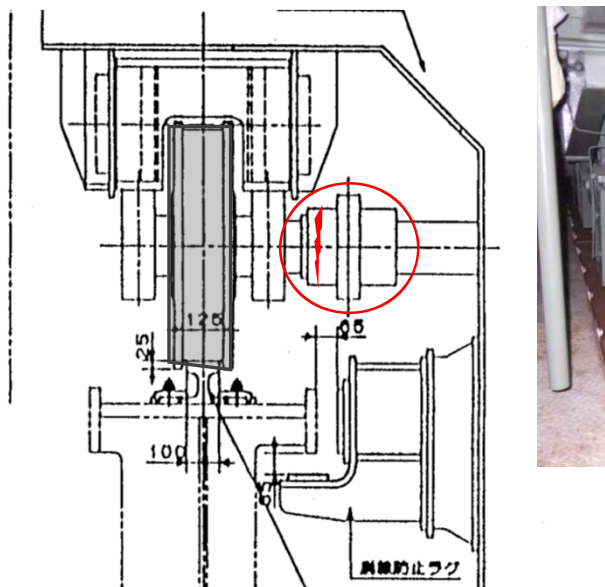


通常、運転信号で電磁ブレーキがディスクから矢印方向に離れるが、動作しない

2. 共用プール建屋1階天井クレーンの状況 ②ギアカップリングカバーの損傷 TEPCO

- 3月16日の地震後、天井クレーンの外観点検時にギアカップリングカバーが2箇所割れていることを確認
- 今後、予備品への交換を行う（5月中完了見込み）

	3月	4月		5月
準備・足場設置				
ギアカップリング交換①				
ギアカップリング交換②				
試運転・足場解体				



ギアカップリングカバー



ギアカップリングカバー損傷部₃

【参考】 走行不能の要因調査

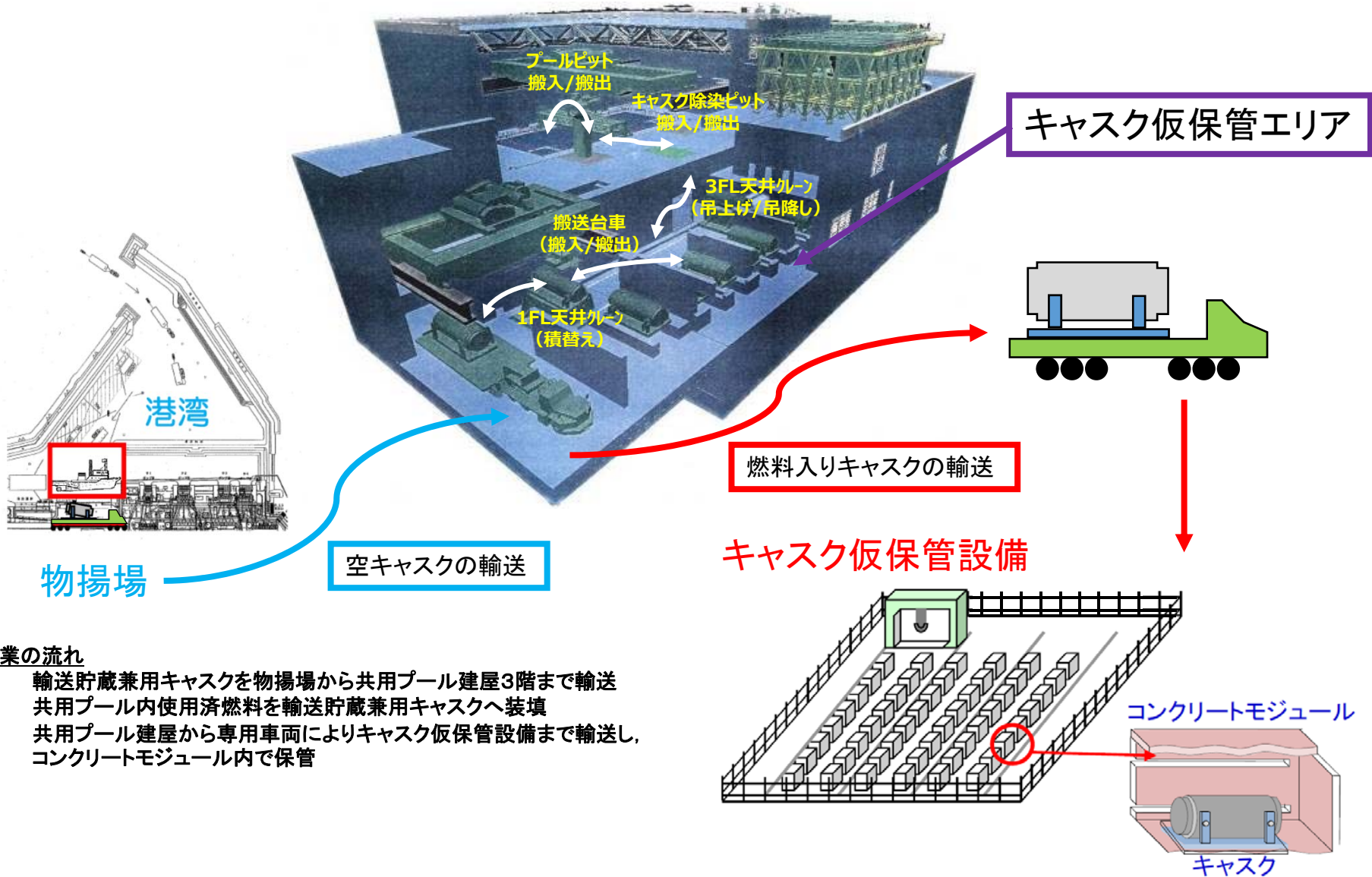
	推定要因	確認項目	状況	判定
走行駆動装置の不具合	ギアカップリング, 軸, 減速機等の損傷	<ul style="list-style-type: none"> 各部の外観・動作確認 	<ul style="list-style-type: none"> ギアカップリングカバーの亀裂を2か所で確認。 減速機の内部確認および動作に異常なし 	△
	走行用ディスクブレーキの解除不可	<ul style="list-style-type: none"> ディスクブレーキの動作確認 	<ul style="list-style-type: none"> 4か所中1か所のブレーキが解除されないことを確認。 ブレーキを手動開放し、走行動作させたところ、電動機が動作することを確認。 コイルの絶縁抵抗は異常なし 	○
	走行用電動機の損傷	<ul style="list-style-type: none"> 絶縁抵抗, 通電状態の確認等 	<ul style="list-style-type: none"> 絶縁抵抗測定, 巻線抵抗測定, 外観異常なし 動作確認異常なし 	×
クレーンが制限位置まで移動	クレーンが制限位置まで移動し, リミットスイッチが動作	<ul style="list-style-type: none"> クレーン位置の確認 警報発報有無の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 走行制限リミットに異常なし 	×
電気・制御系の不具合	インバータの故障	<ul style="list-style-type: none"> 故障信号の確認等 警報発報有無の確認 	<ul style="list-style-type: none"> インバータ・P L Cエラーメッセージなし 	×
	シーケンサの故障	<ul style="list-style-type: none"> 故障信号の確認等 警報発報有無の確認 		

【参考】 共用プール大物搬入口前の道路沈下について

- 3月16日の地震により、共用プール大物搬入口前の道路が沈下していることを確認。道路修繕を計画するとともに、沈下箇所を避けた輸送が可能か今後確認を行う。



【参考】 共用プールからの使用済燃料構内輸送作業の流れについて **TEPCO**



作業の流れ

1. 輸送貯蔵兼用カスクを物揚場から共用プール建屋3階まで輸送
2. 共用プール内使用済燃料を輸送貯蔵兼用カスクへ装填
3. 共用プール建屋から専用車両によりカスク仮保管設備まで輸送し、コンクリートモジュール内で保管

1号機燃料取り出しに向けた工事の進捗について

2022年3月31日

TEPCO

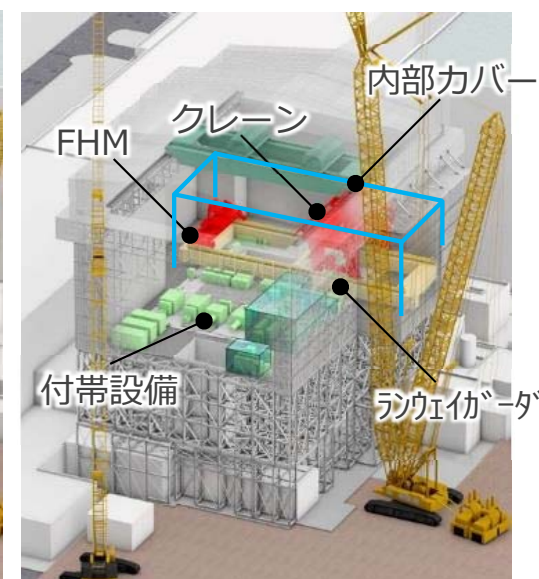
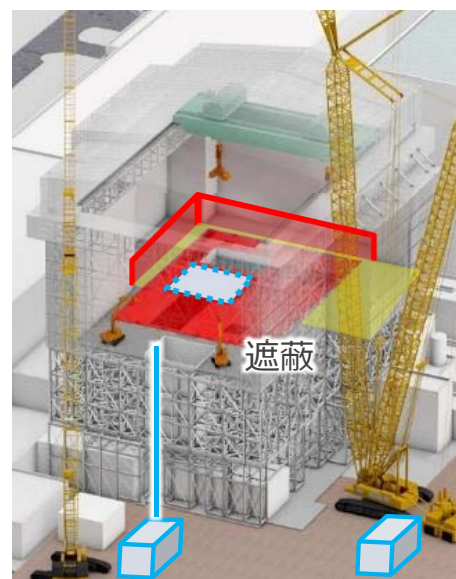
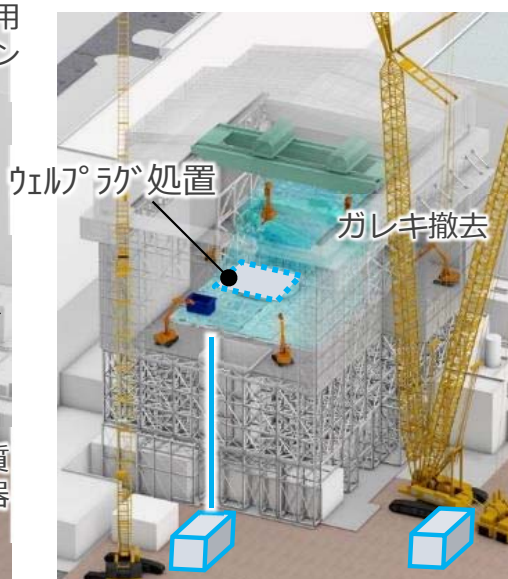
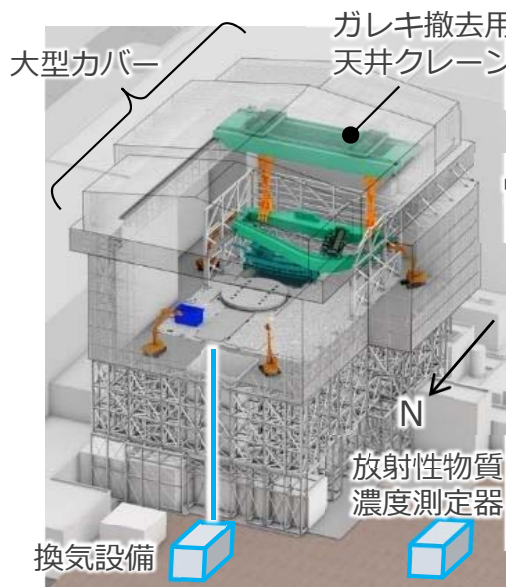
東京電力ホールディングス株式会社

燃料取り出し計画の概要

- 原子炉建屋を覆う大型カバーを先行設置し、大型カバー内のガレキ撤去用天井クレーンや解体重機を用いて、ガレキ撤去を実施する。
- その後、オペレーティングフロアの除染・遮蔽を実施し、燃料取扱設備（燃料取扱機、クレーン）を設置した上で、使用済燃料プールから燃料取り出しを実施する。

大型カバー設置完了
(2023年度頃)

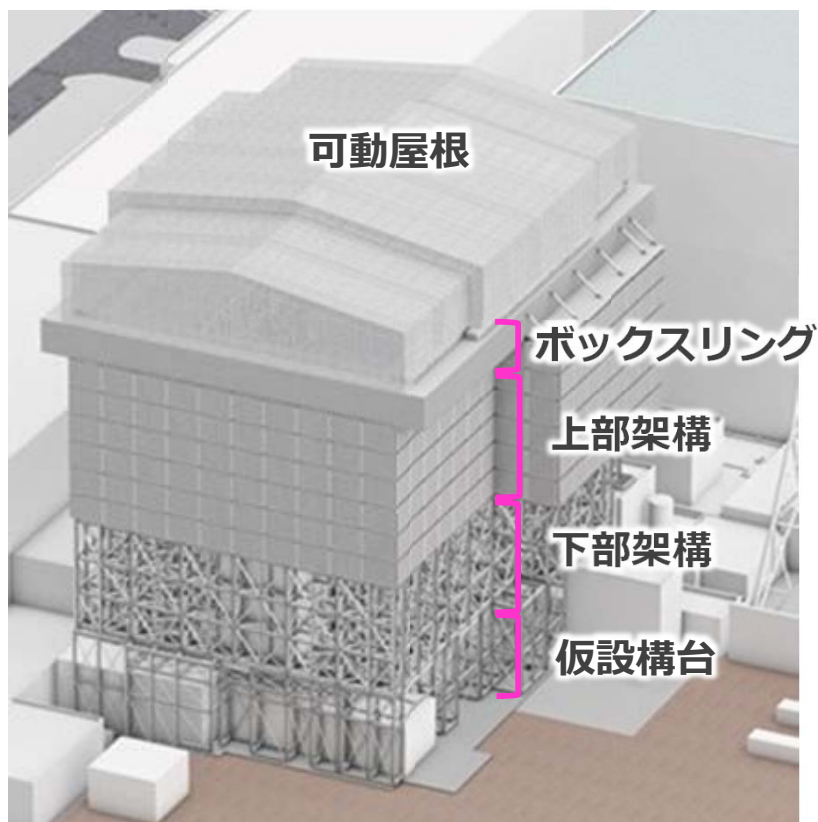
燃料取り出し開始
(2027~2028年度)



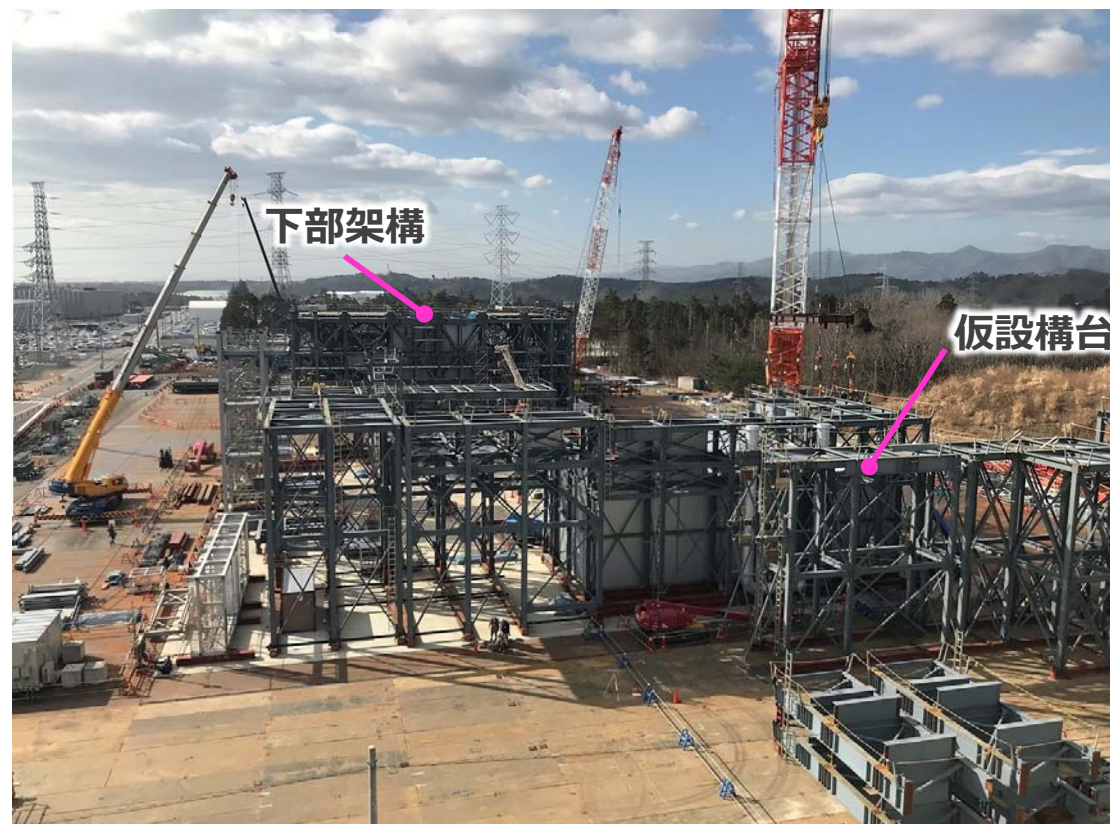
※イメージ図につき実際と異なる部分がある場合がある

大型カバー設置工事の進捗状況（構外）

- 大型カバー設置へ向けた鉄骨等の地組作業等を，構外ヤードで実施中である。
- 現在，仮設構台の地組が完了し，下部架構の地組が約90%完了している。



大型カバー全体の概要図

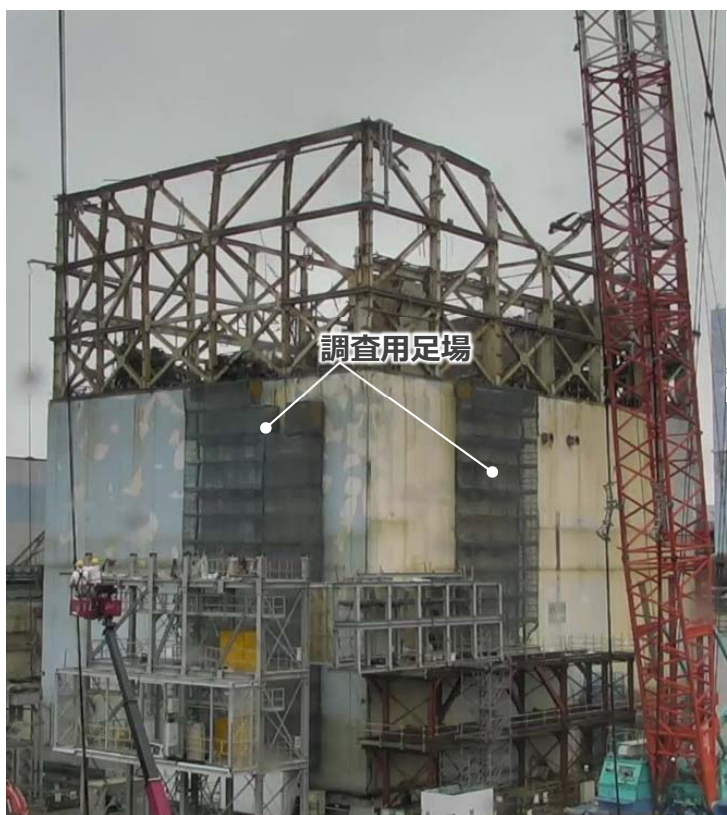
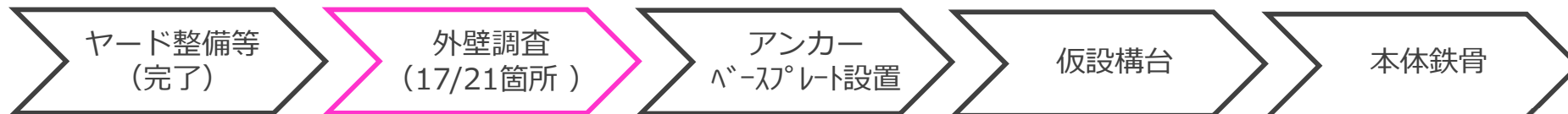


構外ヤード全景（撮影：2022年3月14日）

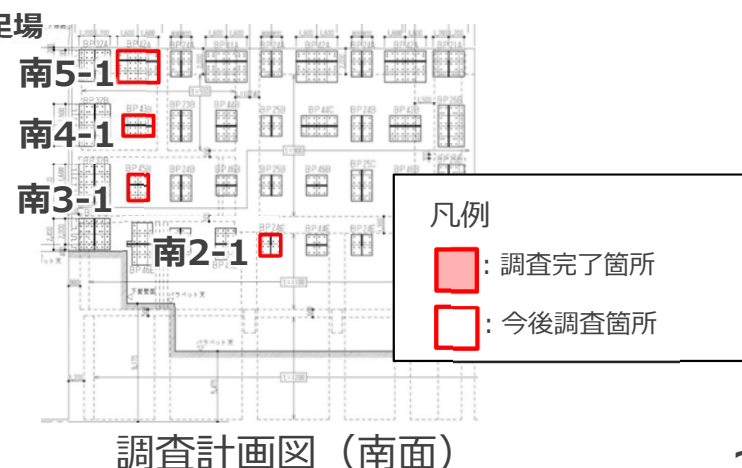
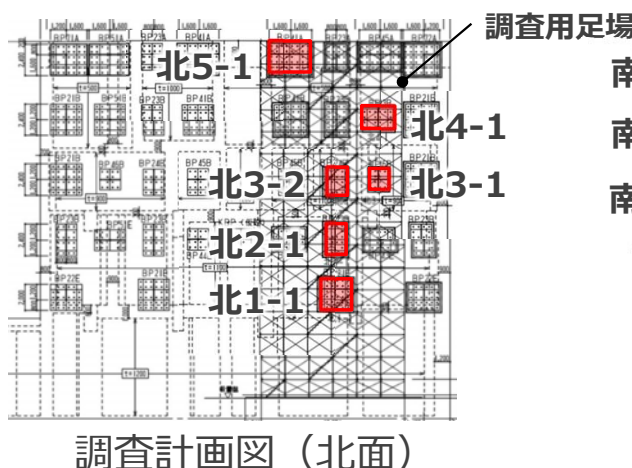
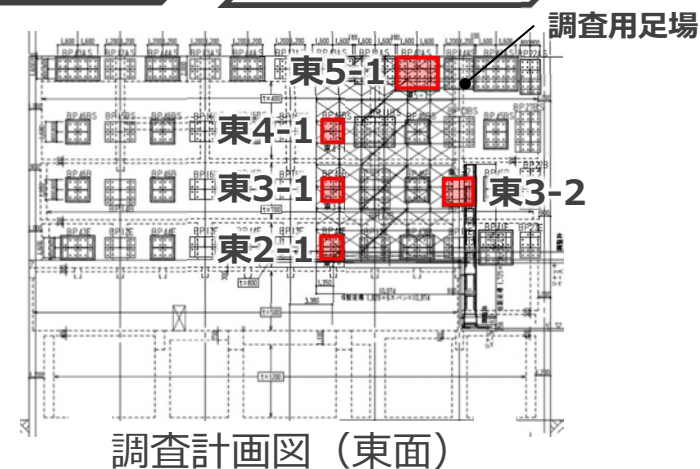
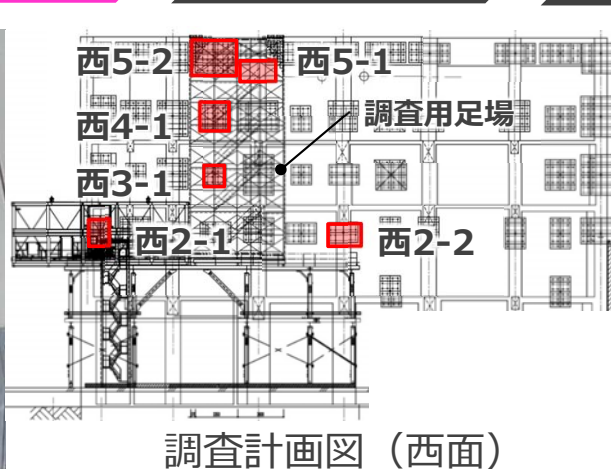
大型カバー設置工事の進捗状況（構内）

- 1号機R/Bの外壁調査について、各面21箇所のうち西・北・東面の17箇所の調査を完了した。
- 外壁調査の結果、今後実施する大型カバー設置計画等に支障がないことを確認した。

現時点



現場状況（北西より）
（撮影：2022年3月18日）



■ 外壁調査目的

- ▶ アンカー設置位置の外壁状態を確認し、以下の項目を調査する。
 - ① アンカー位置に有意なひび割れが無いこと
 - ② コンクリート強度が建設時の設計基準強度（ 22.1N/mm^2 ）以上あること

■ 調査対象箇所

- ▶ 外壁調査は、R/B外壁部が高線量であることを踏まえ代表箇所による調査とした。
- ▶ 代表箇所は、事前に高性能カメラによる調査を行い塗膜面にひび割れが認められる箇所等から各面各段1~2箇所を選定し、計21箇所とした。

■ 調査内容及び方法

① ひび割れ調査

外壁表面の塗膜を剥離した後、コンクリート表面のひび割れを確認する。有意なひび割れが確認された場合は、アンカー設置位置の見直しを行う。

② コンクリート強度調査

リバウンドハンマー※により、R/B外壁のコンクリート強度を推定する。



コンクリート面に衝撃を与え、返ってきた衝撃の程度によりコンクリートの強度を推定する方法

※リバウンドハンマーの概要

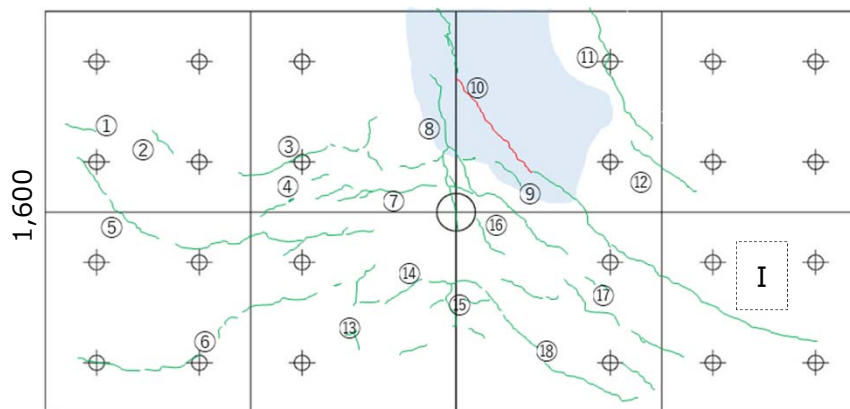
原子炉建屋の外壁調査計画（調査結果）

■ 西面の調査結果（西5-1）

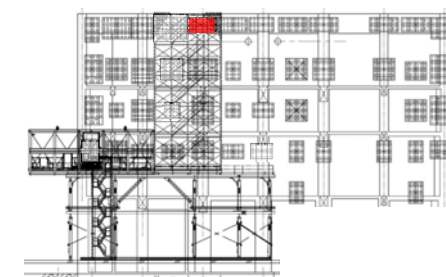
- ひび割れ幅は最大1.3mmであった。
- 打音調査の結果コンクリートの浮きが一部認められたが、かぶり厚さ以内であることを確認した。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
①	0.20	有
②	0.20	無
③	0.30	無
④	0.35	有
⑤	0.70	有
⑥	0.80	有
⑦	0.25	有
⑧	0.85	有
⑨	0.45	有
⑩	1.30	有
⑪	1.00	有
⑫	0.20	有
⑬	0.30	有
⑭	0.45	有
⑮	0.55	有
⑯	0.50	有
⑰	0.85	有
⑱	0.80	有



ひび割れスケッチ図 (単位: mm)



西面キープラン

凡例

- : 幅 ≤ 1.0mm
- : 1.0mm < 幅
- : 浮き範囲
- : コンクリート強度調査範囲

コンクリート強度調査結果一覧表

No.	リバウトハンマー推定強度(N/mm ²)
I	35.6

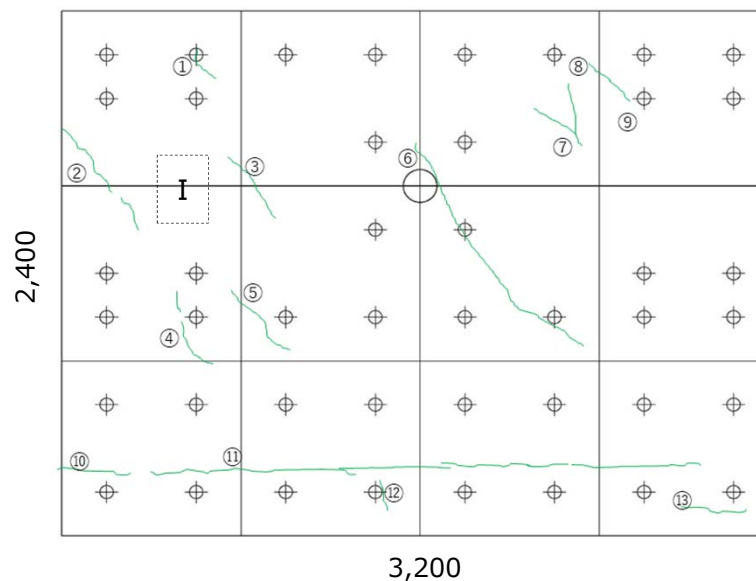
原子炉建屋の外壁調査計画（調査結果）

■ 西面の調査結果（西5-2）

- ひび割れ幅は最大0.8mmであった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

ひび割れ一覧表

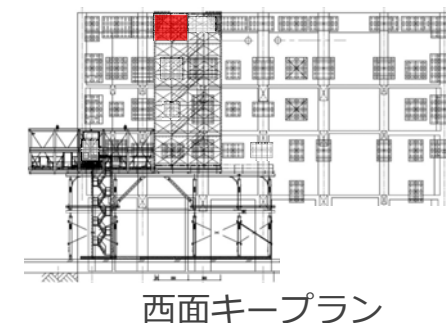
No.	幅(mm)	塗膜面への表出
①	0.20	無
②	0.15	無
③	0.30	無
④	0.10	無
⑤	0.15	無
⑥	0.25	無
⑦	0.25	無
⑧	0.30	無
⑨	0.20	無
⑩	0.10	無
⑪	0.80	有
⑫	0.10	無
⑬	0.10	無



ひび割れスケッチ図 (単位: mm)

凡例

- : 幅 ≤ 1.0mm
- : 1.0mm < 幅
- : 浮き範囲
- : コンクリート強度調査範囲



コンクリート強度調査結果

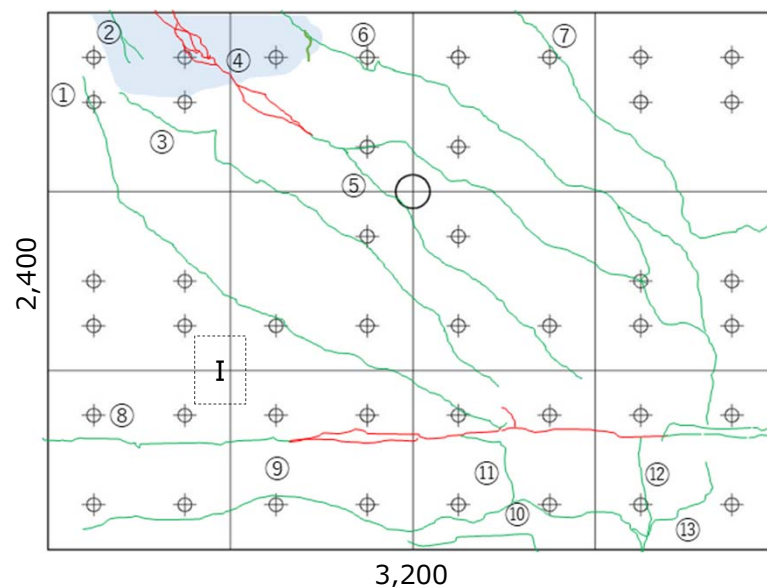
No.	リバウトハンマー推定強度(N/mm ²)
I	38.8

■ 北面の調査結果（北5-1）

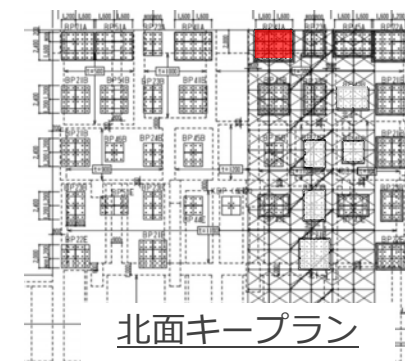
- ひび割れ幅は最大1.6mmであった。
- 打音調査の結果コンクリートの浮きが一部認められたが、かぶり厚さ以内であることを確認した。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
①	0.25	有
②	0.60	有
③	0.60	有
④	1.60	有
⑤	0.30	有
⑥	0.30	有
⑦	0.15	有
⑧	1.50	有
⑨	0.10	無
⑩	0.10	無
⑪	0.10	無
⑫	0.15	無
⑬	0.10	無



ひび割れスケッチ図（単位：mm）



- 凡例
- : 幅 ≤ 1.0mm
 - : 1.0mm < 幅
 - : 浮き範囲
 - : コンクリート強度調査範囲

コンクリート強度調査結果

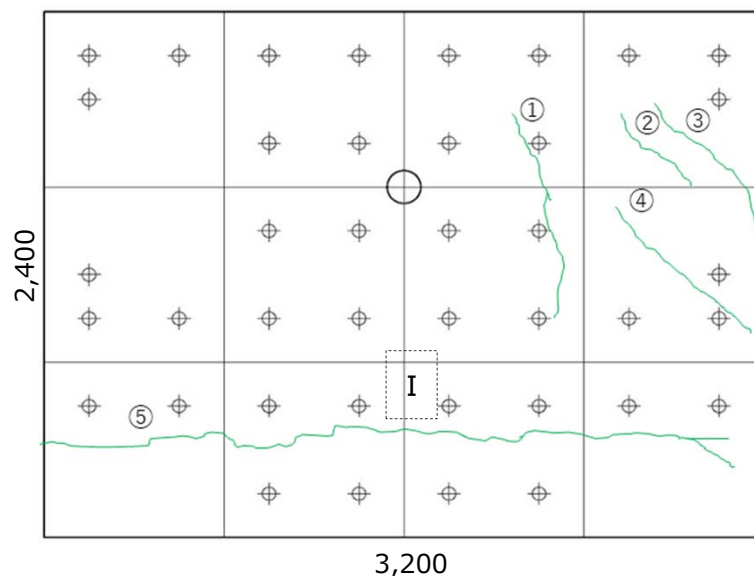
No.	リバウトハンマー推定強度(N/mm ²)
I	34.3

■ 東面の調査結果（東5-1）

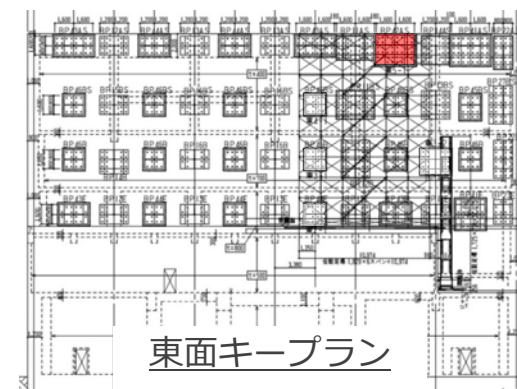
- ひび割れ幅は最大0.30mmであった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
①	0.15	有
②	0.15	無
③	0.25	有
④	0.15	有
⑤	0.30	有



ひび割れスケッチ図（単位：mm）



- 凡例
- : 幅 ≤ 1.0mm
 - : 1.0mm < 幅
 - : 浮き範囲
 - : コンクリート強度調査範囲

コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー推定強度(N/mm ²)
I	40.6

■ 調査結果まとめ（その1）

● ひび割れ調査

- 幅1mm超えのひび割れは計3本認められたが、最大ひび割れ幅は1.6mmであり、幅2mmを超えるひび割れは認められなかった。
- 打音調査の結果、コンクリートの浮きが2箇所認められたが、いずれも、かぶり厚さ以内であることを確認した。
- 幅0.5mm以上のひび割れは、事前調査で確認した塗膜面割れと一致しており、クライテリアとした1mm超えのひび割れは塗膜面の上から判断が可能であることを確認した。

● コンクリート強度調査

- リバウンドハンマーによる推定強度は、いずれも設計基準強度である22.1N/mm²を上回った。

■ 調査結果まとめ（その2）

● 調査結果を受けた対応と考察

- 幅1mmを超えるひび割れはエポキシ補修もしくはアンカー位置をひび割れと干渉しない位置へ見直す。なお、別途実施したアンカー引抜き実験では、ひび割れ幅4mmの貫通ひび割れがあったとしても、強度上問題ないことを確認している。
- 浮きが認められた部分は、すべて研り取りモルタルを充填する。
- ひび割れや浮きが認められたものの、局所的であり、耐震壁としての性能を保持していると評価している。

● 今後の調査への展開

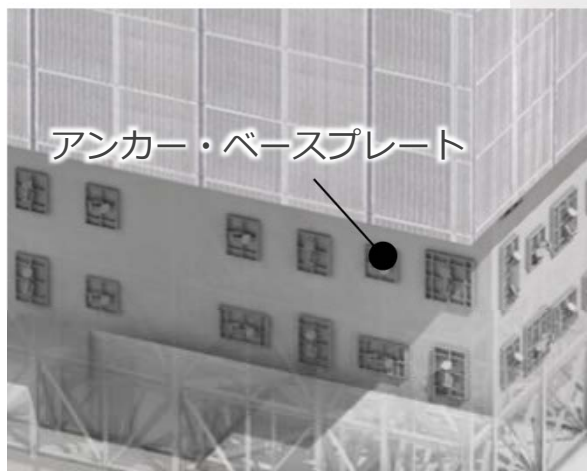
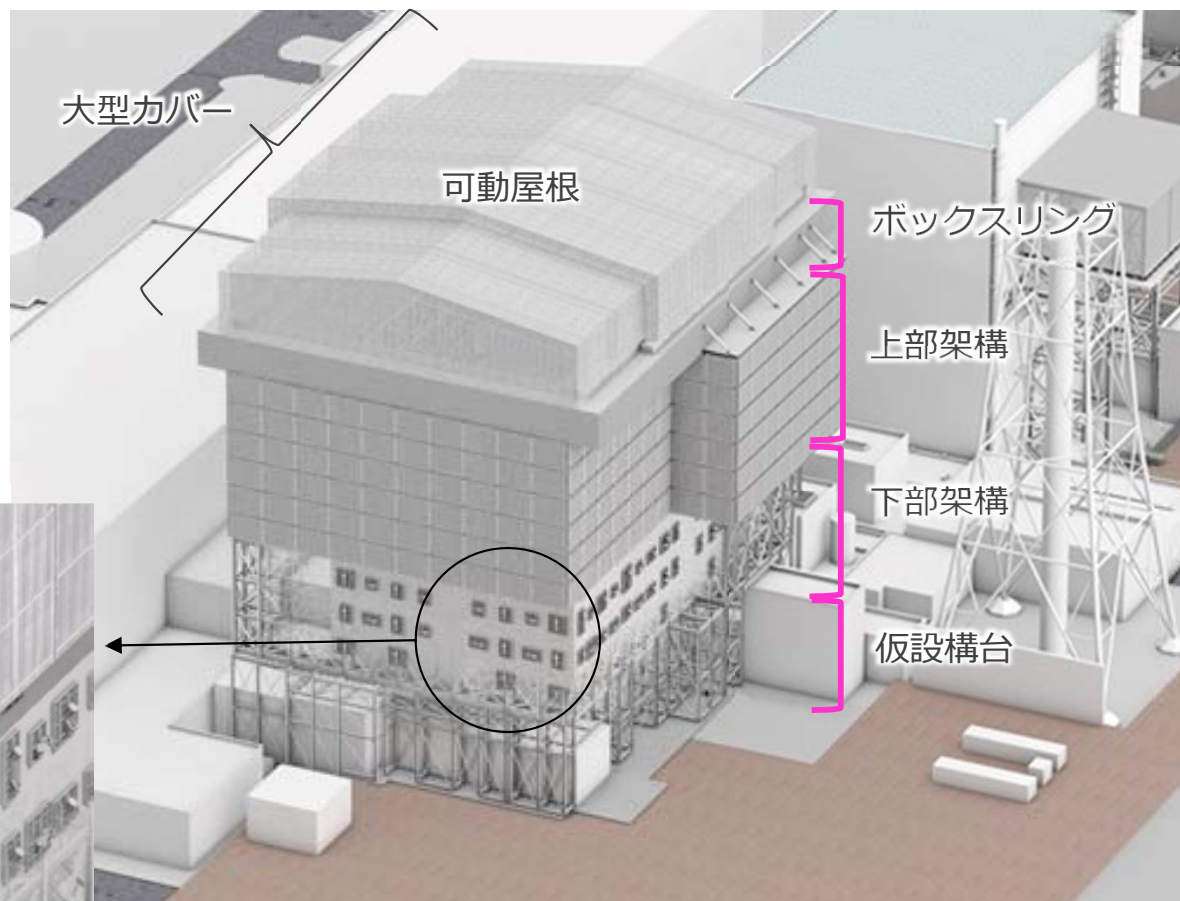
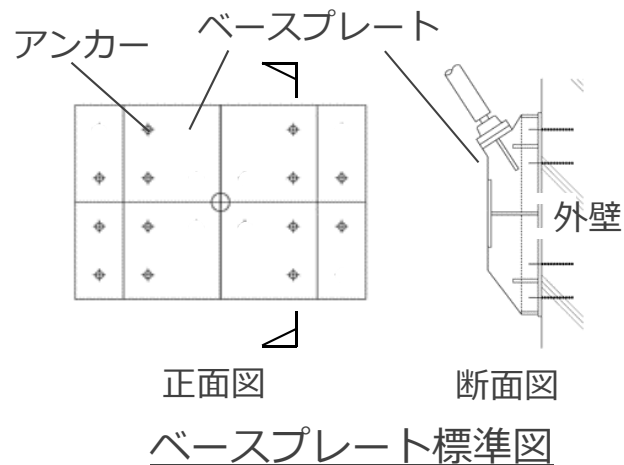
- 塗膜面に割れが存在する箇所の塗膜を局所的に剥離し、ひび割れ幅が1mmを超える場合はエポキシ補修もしくはアンカー位置をひび割れと干渉しない位置へ見直す。
- アンカー削孔前にアンカー削孔装置から打音調査を行い、かぶり厚さより深い浮きが認められた範囲は、アンカー位置を浮きと干渉しない位置へ見直す。浮きが認められる範囲は深さによらず、すべて研り取りモルタルで充填する。

- 構外では引き続き鉄骨地組等を進め、構内では外壁調査が完了した箇所のアンカー設置や仮設構台設置等を進めていく。なお、南面の外壁調査はSGTS配管撤去等の準備が整い次第実施していく。

	2021年度			2022年度				2023年度	2024年度
	1月	2月	3月	1Q	2Q	3Q	4Q		
中長期RM マイルストーン								2023年度頃 大型カバー設置完了	
実施計画	実施計画変更申請（大型カバー）			〇〇〇					
	実施計画変更申請（大型カバー換気設備他）			〇〇〇					
大型カバー設置				本体鉄骨建方等					〇〇〇
	R/B外壁調査, アンカー設置, ベースプレート設置							〇〇〇	
	仮設構台等設置							〇〇〇	
	作業ヤード整備, 構外ヤード地組, 運搬等								〇〇〇
大型カバー換気設備他 設置	換気設備ダクト仮組み, 注水用配管仮組み【構外作業】			〇〇〇					
				大型カバー換気設備他設置【構内作業】					〇〇〇

(参考) 大型カバーの概要

- 1号機の燃料取り出しに向け、ガレキ撤去時のダスト飛散抑制や作業環境の構築、雨水流入抑制を目的に原子炉建屋を覆う大型カバーを設置し、燃料取り出しを実施する。
- 大型カバーは、下部架構、上部架構、ボックスリング、可動屋根で構成される鉄骨造の構造物であり、下部架構の位置で原子炉建屋にアンカー及びベースプレートを通じて支持する構造である。



大型カバー全体の概要図

※イメージ図につき実際と異なる部分がある場合がある

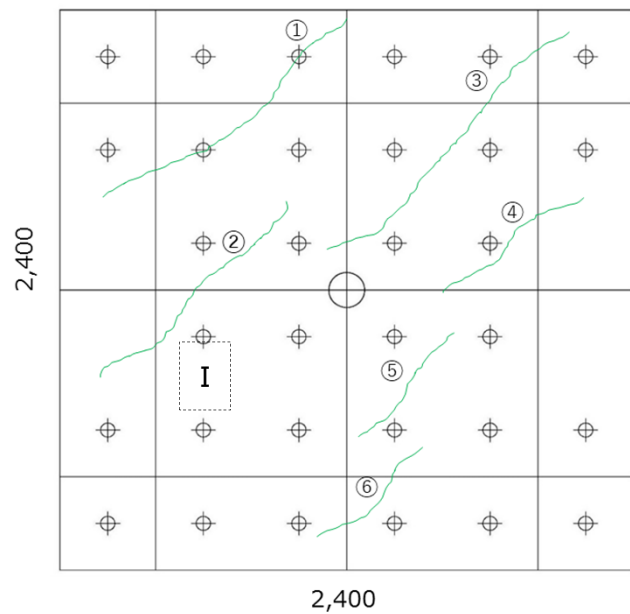
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 西面の調査結果 (西4-1)

- ひび割れ幅は最大0.2mmであった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

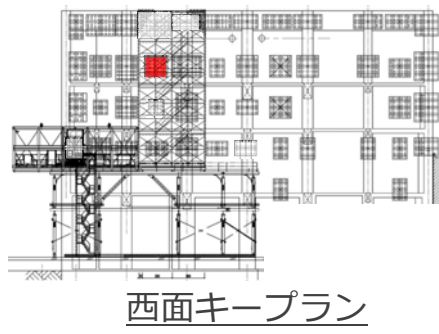
ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
①	0.20	無
②	0.10	無
③	0.12	無
④	0.20	無
⑤	0.20	無
⑥	0.10	無



ひび割れスケッチ図 (単位: mm)

- 凡例
- : 幅 ≤ 1.0mm
 - : 1.0mm < 幅
 - : 浮き範囲
 - : コンクリート強度調査範囲



コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー推定強度(N/mm ²)
I	35.7

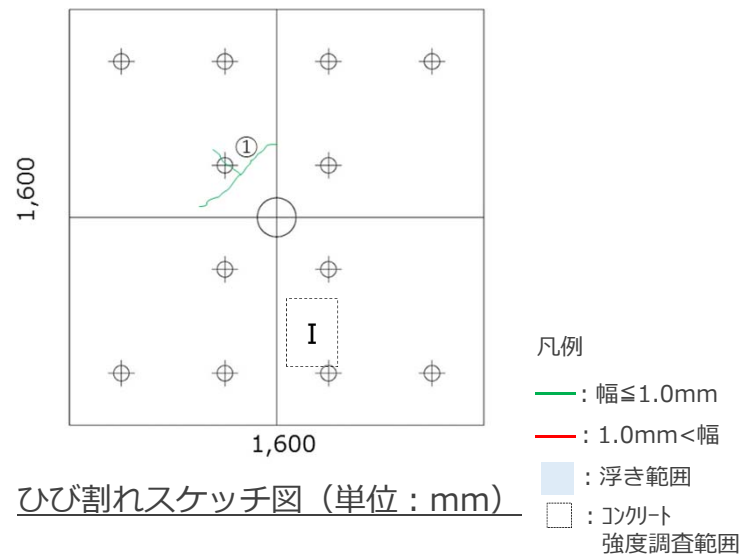
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 西面の調査結果 (西3-1)

- ひび割れ幅は最大0.1mmであった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

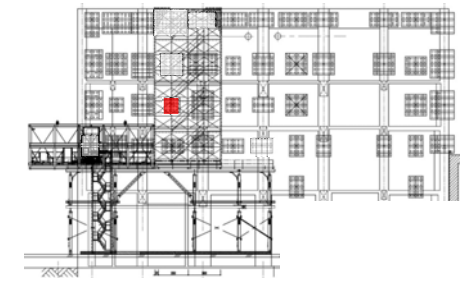
ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
①	0.10	無



コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー推定強度(N/mm ²)
I	39.2



西面キープラン

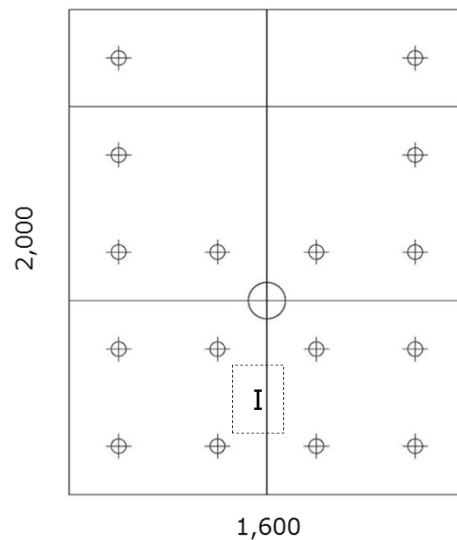
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 西面の調査結果 (西2-1)

- ひび割れは認められなかった。
- リバウトハンマによる推定強度は設計基準強度 22.1N/mm^2 を上回った。

ひび割れ一覧表

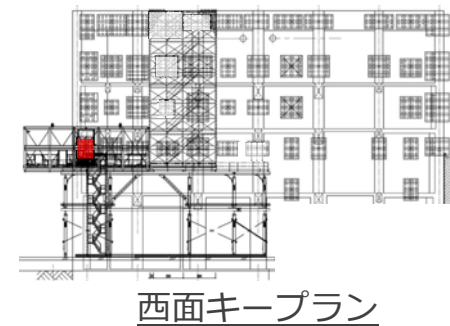
No.	幅(mm)	塗膜面への表出
ひび割れは認められなかった		



ひび割れスケッチ図 (単位：mm)

コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマ-推定強度(N/mm ²)
I	36.3



凡例

- (Green line): 幅 $\leq 1.0\text{mm}$
- (Red line): $1.0\text{mm} < \text{幅}$
- (Blue shaded): 浮き範囲
- (Dashed box): コンクリート強度調査範囲

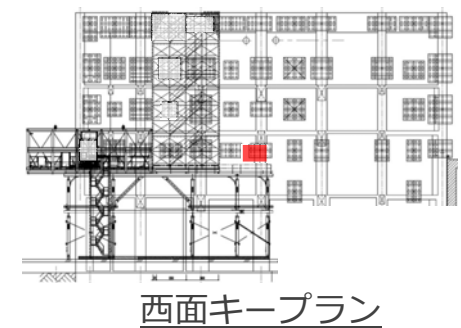
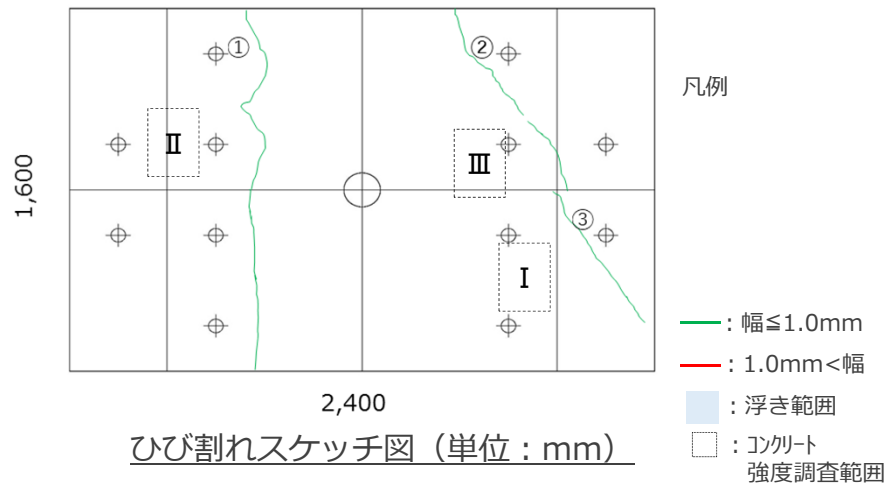
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 西面の調査結果 (西2-2)

- ひび割れ幅は最大0.35mmであった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
①	0.20	無
②	0.20	無
③	0.35	無



コンクリート強度調査結果

No.	コンクリートコア強度 (N/mm ²)		リバウトハンマー-推定強度 (N/mm ²)	
I	35.4	平均 31.7	40.9	平均 38.8
II	27.4		38.3	
III	32.5		37.3	

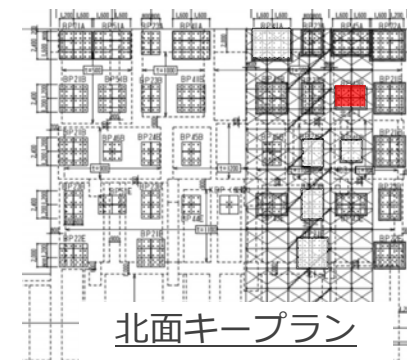
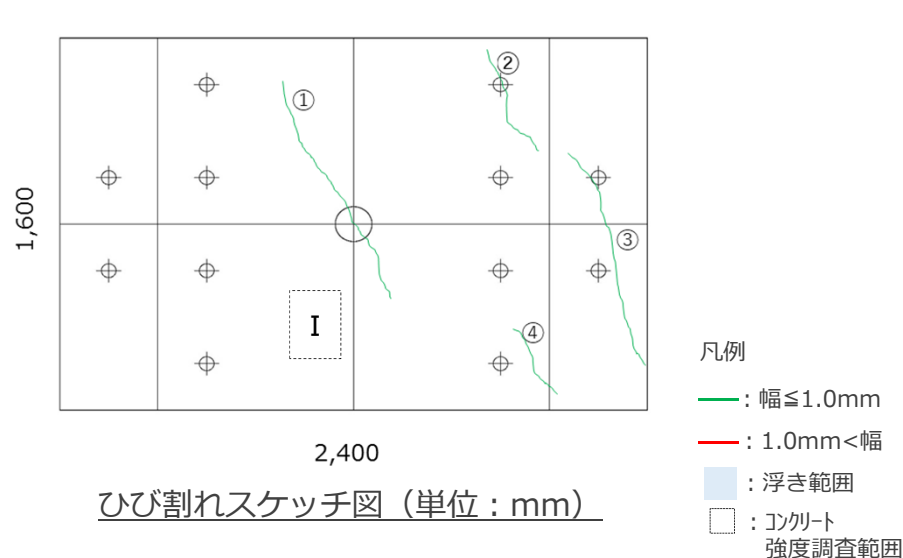
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 北面の調査結果 (北4-1)

- ひび割れ幅は最大0.2mmであった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
①	0.15	無
②	0.20	無
③	0.10	無
④	0.10	無



コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー-推定強度(N/mm ²)
I	39.0

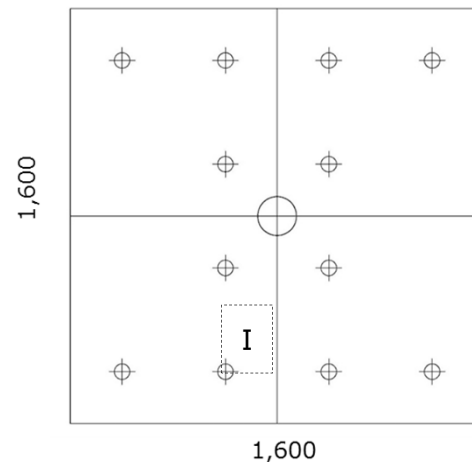
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 北面の調査結果 (北3-1)

- ひび割れは認められなかった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

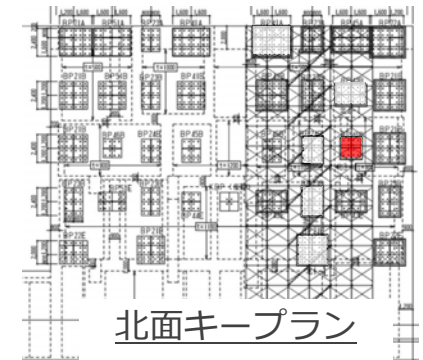
ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
ひび割れは認められなかった		



ひび割れスケッチ図 (単位: mm)

- 凡例
- : 幅 ≤ 1.0mm
 - : 1.0mm < 幅
 - : 浮き範囲
 - : コンクリート強度調査範囲



コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー推定強度(N/mm ²)
I	39.7

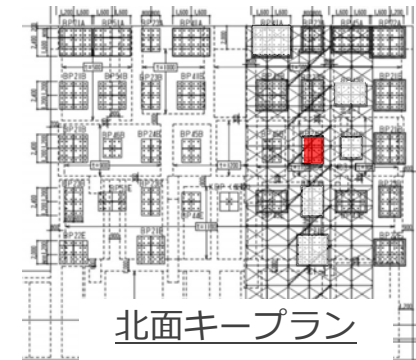
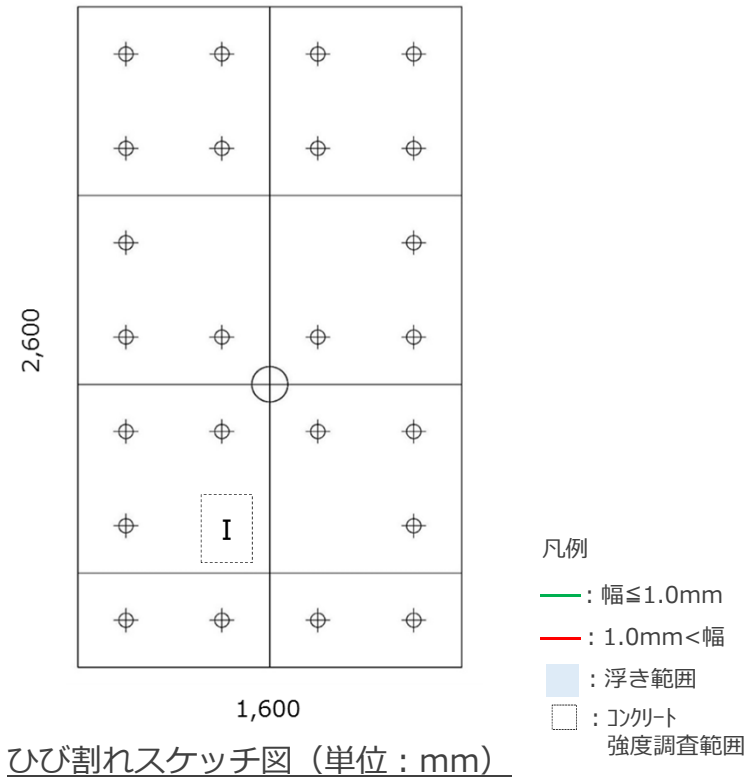
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 北面の調査結果 (北3-2)

- ひび割れは認められなかった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
ひび割れは認められなかった		



コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー-推定強度(N/mm ²)
I	38.6

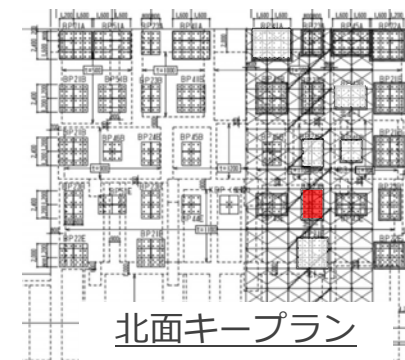
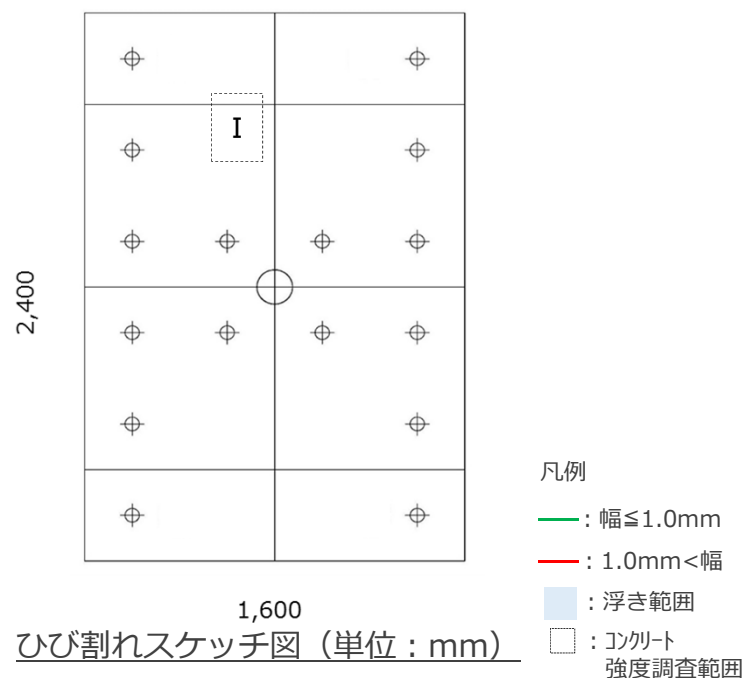
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 北面の調査結果 (北2-1)

- ひび割れは認められなかった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度 22.1N/mm^2 を上回った。

ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
ひび割れは認められなかった		



コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー-推定強度(N/mm ²)
I	38.1

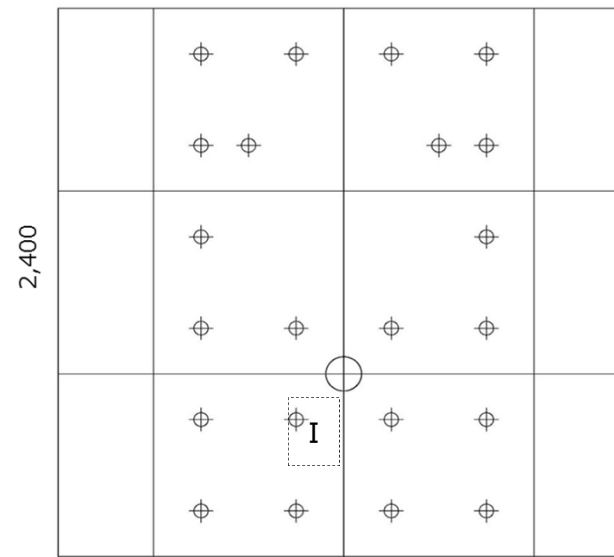
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 北面の調査結果 (北1-1)

- ひび割れは認められなかった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

ひび割れ一覧表

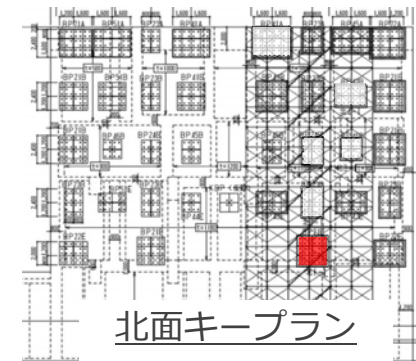
No.	幅(mm)	塗膜面への表出
ひび割れは認められなかった		



ひび割れスケッチ図 (単位: mm)

コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー-推定強度(N/mm ²)
I	40.7



- 凡例
- : 幅 ≤ 1.0mm
 - : 1.0mm < 幅
 - : 浮き範囲
 - : コンクリート強度調査範囲

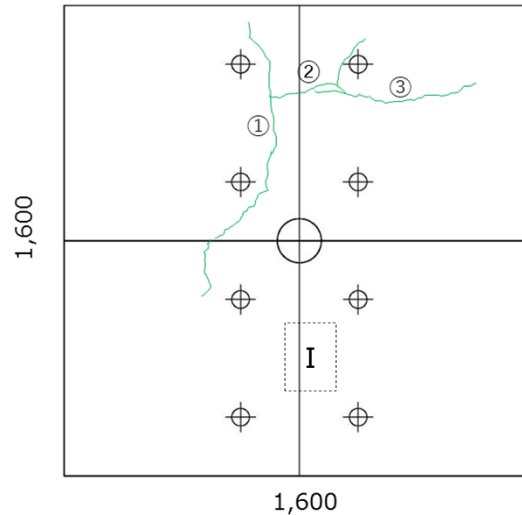
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 東面の調査結果 (東4-1)

- ひび割れ幅は最大0.25mmであった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

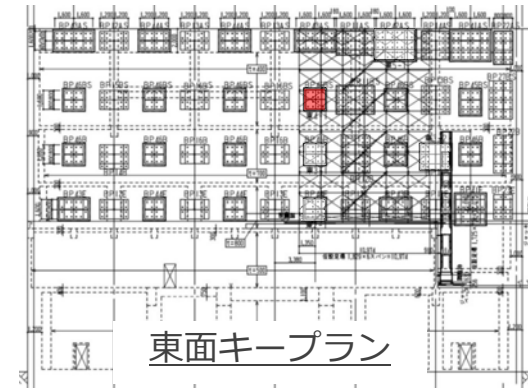
ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
①	0.10	無
②	0.25	無
③	0.20	無



凡例

- : 幅 ≤ 1.0mm
- : 1.0mm < 幅
- : 浮き範囲
- : コンクリート強度調査範囲



コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー推定強度(N/mm ²)
I	37.1

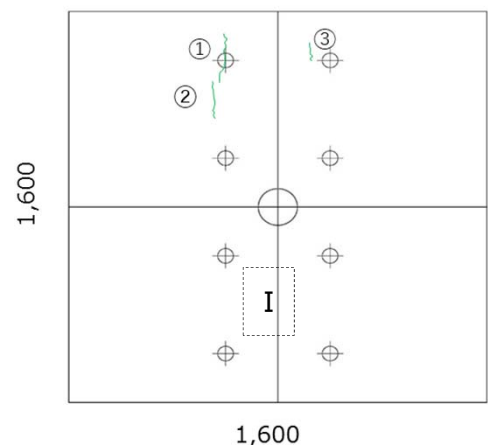
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 東面の調査結果 (東3-1)

- ひび割れ幅は最大0.35mmであった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

ひび割れ一覧表

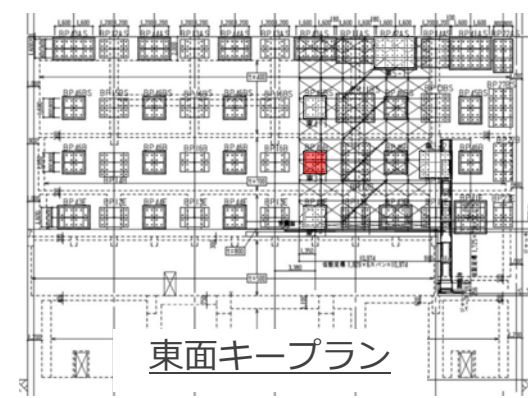
No.	幅(mm)	塗膜面への表出
①	0.35	無
②	0.10	無
③	0.10	無



ひび割れスケッチ図 (単位: mm)

凡例

- : 幅 ≤ 1.0mm
- : 1.0mm < 幅
- : 浮き範囲
- : コンクリート強度調査範囲



コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー推定強度(N/mm ²)
I	38.3

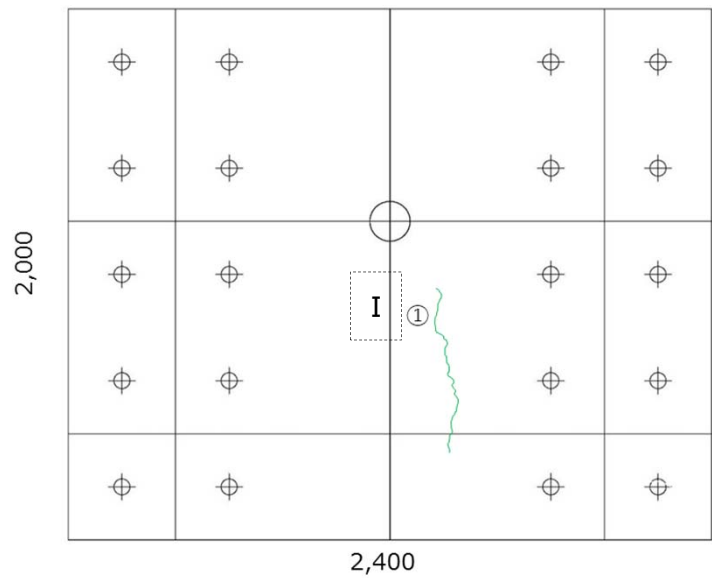
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 東面の調査結果 (東3-2)

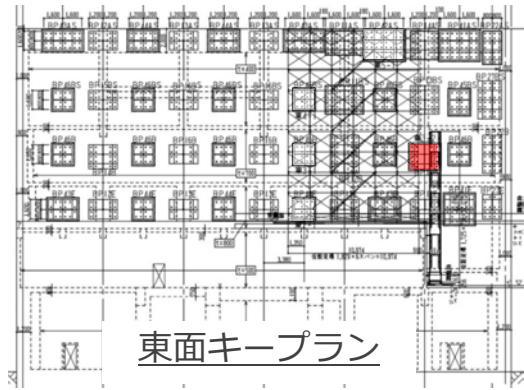
- ひび割れ幅は最大0.20mmであった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度22.1N/mm²を上回った。

ひび割れ一覧表

No.	幅(mm)	塗膜面への表出
①	0.20	無



ひび割れスケッチ図 (単位 : mm)



東面キープラン

凡例

- : 幅 ≤ 1.0mm
- : 1.0mm < 幅
- : 浮き範囲
- : コンクリート強度調査範囲

コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー-推定強度(N/mm ²)
I	39.6

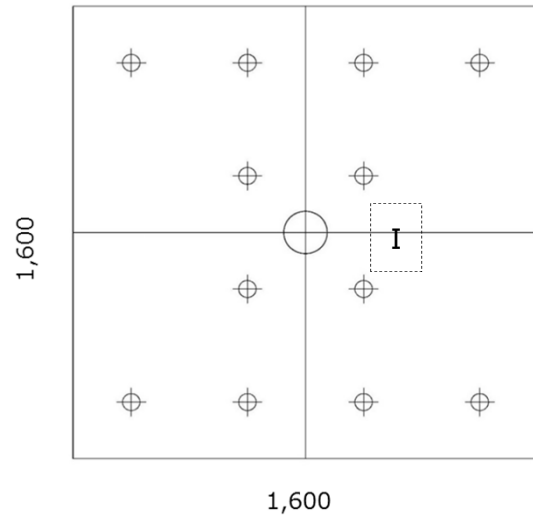
(参考) 原子炉建屋の外壁調査計画 (調査結果)

■ 東面の調査結果 (東2-1)

- ひび割れは認められなかった。
- リバウトハンマーによる推定強度は設計基準強度 22.1N/mm^2 を上回った。

ひび割れ一覧表

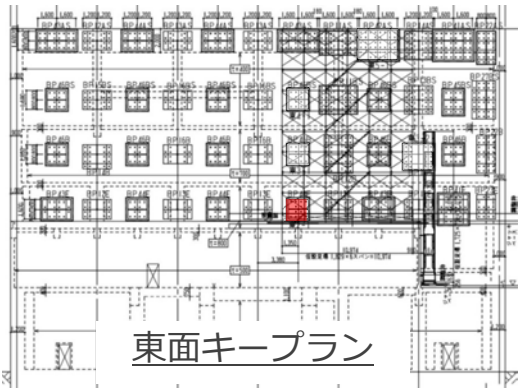
No.	幅(mm)	塗膜面への表出
ひび割れは認められなかった		



ひび割れスケッチ図 (単位: mm)

凡例

- : 幅 $\leq 1.0\text{mm}$
- : $1.0\text{mm} <$ 幅
- : 浮き範囲
- : コンクリート強度調査範囲



コンクリート強度調査結果

No.	リバウトハンマー推定強度(N/mm ²)
I	39.9

使用済燃料等の保管状況

保管場所	保管体数(体)				取出し率	(参考) 2011/3/11 時点	備考
	使用済燃料プール		新燃料 貯蔵庫	合計			
	新燃料	使用済燃料	新燃料				
1号機	100	292	0	392	0.0%	392	
2号機	28	587	0	615	0.0%	615	
3号機	0	0	0	0	100.0%	566	
4号機	0	0	0	0	100.0%	1,535	
5号機	168	1,374	0	1,542	0.0%	1,542	・2011/3/11時点の体数は炉内含む
6号機	198	1,456	230	1,884	0.0%	1,704	・2011/3/11時点の体数は炉内含む ・使用済燃料プール保管新燃料の
1～6号機	494	3,709	230	4,433	30.2%	6,354	

保管場所	保管体数(体)			保管率	(参考) 保管容量	備考
	新燃料	使用済燃料	合計			
乾式キャスク 仮保管設備	0	2,033	2,033	51.3%	3,965	キャスク基数37 (容量:65基)
共用プール	76	6,595	6,671	99.1%	6,734	ラック取替工事実施により当初保管 容量6,840体から変更

	保管体数(体)		
	新燃料	使用済燃料	合計
福島第一合計	800	12,337	13,137

赤字:2022/2/24報告時からの変更点
変更なし



1号機飛散防止剤散布実績及び連続ダストモニタ計測値

2022/3/31



東京電力ホールディングス株式会社

1.定期散布（1号機）

定期散布	
目的	オペレーティングフロア（以下、オペフロ）上へ飛散防止剤を定期的に散布し、ダストの飛散抑制効果を保持させることを目的とする。
頻度	1回/月
標準散布量	1.5L/m ² 以上
濃度	1/10
散布範囲	<p>【凡例】 : 散布範囲</p>
散布面積	1,234m ²

2.作業時散布・定期散布の実績及び予定（1号機）

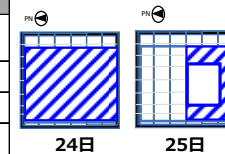
作業時散布			
目的	オペフロ上での（ガレキ撤去や除染等）作業に応じて、飛散防止剤を散布し、ダストの飛散を抑制することを目的とする。		
標準散布量	1.5L/m ² 以上	濃度	1/10
散布対象作業	ガレキ撤去		
定期散布の実績及び予定			
計画（3月）	実績（3月）	計画（4月）	
完了予定日：3月10・11日 PN	完了日：3月24・25日 PN	完了予定日：4月11・12日 PN	

【凡例】 ：計画散布範囲 ：実績散布範囲

2022年3月31日時点

3.作業時散布の実績及び予定（1号機）

								当該週の散布範囲
2月	月	20 (日)	21 (月)	22 (火)	23 (水)	24 (木)	25 (金)	26 (土)
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	6.06E-05 (最大) ND (最小)	5.52E-05 (最大) ND (最小)	1.39E-04 (最大) ND (最小)	7.15E-05 (最大) ND (最小)	6.34E-05 (最大) ND (最小)	4.93E-05 (最大) ND (最小)	1.04E-04 (最大) ND (最小)
	月	27 (日)	28 (月)	1 (火)	2 (水)	3 (木)	4 (金)	5 (土)
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.04E-04 (最大) ND (最小)	9.87E-05 (最大) ND (最小)	9.33E-05 (最大) ND (最小)	8.51E-05 (最大) ND (最小)	9.87E-05 (最大) ND (最小)	7.11E-05 (最大) ND (最小)	2.05E-04 (最大) ND (最小)
3月	月	6 (日)	7 (月)	8 (火)	9 (水)	10 (木)	11 (金)	12 (土)
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.15E-04 (最大) ND (最小)	9.05E-05 (最大) ND (最小)	6.06E-05 (最大) 7.37E-07 (最小)	1.39E-04 (最大) ND (最小)	7.15E-05 (最大) ND (最小)	5.25E-05 (最大) ND (最小)	8.50E-05 (最大) ND (最小)
	月	13 (日)	14 (月)	15 (火)	16 (水)	17 (木)	18 (金)	19 (土)
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	8.46E-05 (最大) ND (最小)	7.86E-05 (最大) ND (最小)	1.10E-04 (最大) ND (最小)	7.61E-05 (最大) ND (最小)	7.96E-05 (最大) ND (最小)	9.86E-05 (最大) ND (最小)	8.23E-05 (最大) ND (最小)
月	20 (日)	21 (月)	22 (火)	23 (水)	24 (木)	25 (金)	26 (土)	
散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	(定期散布実施)	(定期散布実施)	-	
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	(定期散布実施)	(定期散布実施)	-	
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	9.05E-05 (最大) ND (最小)	9.32E-05 (最大) ND (最小)	1.15E-04 (最大) ND (最小)	9.86E-05 (最大) ND (最小)	1.01E-04 (最大) ND (最小)	1.55E-04 (最大) ND (最小)	8.99E-05 (最大) ND (最小)	
月	27 (日)	28 (月)	29 (火)	30 (水)	31 (木)	1 (金)	2 (土)	
散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.31E-04 (最大) ND (最小)	5.65E-05 (最大) ND (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	



※1 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値、ND=不検出